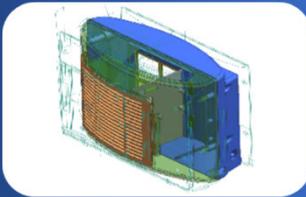


3Dツールを駆使し、ものづくり企業の製品開発を支援！

和歌山県工業技術センターでは、3Dデータを活用した製品開発を行う環境を整備し、県内企業の「新たなものづくり」へのチャレンジを支援します。

●3D-CAD



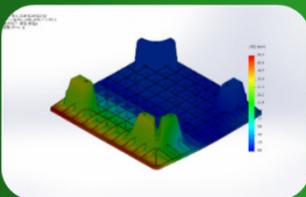
物体の形状をコンピュータ上で
立体的に描画して設計が可能！



- ・設計の**ビジュアル化**により誰が見てもわかりやすい。
- ・体積・質量・重心等の**情報**が得られる。
- ・**複雑な形状**や**曲面**等のデザインの設計が行い易い。



●CAE



コンピュータ上で様々な
テストをシミュレーション！



実際に金型を作ってテストをする回数を減らすことができ、**開発期間の短縮**や**コスト削減**を実現できます。



●3Dプリンター



3Dデータをもとに
短時間・低コストで試作品を作製可能！



- ・実際に金型を作る前に形状や機構の確認ができるので、**開発期間の短縮**や**コスト削減**を実現できます。
- ・模型やジオラマを低予算で製作し**営業用ツール**としても活用できます。



3Dスマートものづくり普及のための人材育成を支援！



●3DCADスクールの開催

CAEや3Dプリンターを利用するには、**3Dデータの作成**が必要。



和歌山県工業技術センターでは平成27年度から**3DCADスクール**を開催し、**設計者・技術者の育成**を図っています。